

第29回 名鉄西尾・蒲郡線（西尾駅～蒲郡駅）対策協議会総会 議事録

日 時：令和7年3月19日（木）午後2時00分～2時30分

場 所：西尾市役所53ABC会議室

出席者：（構 成 員）西尾市 近藤副市長

蒲郡市 大原副市長

愛知県 都市・交通局交通対策課 山田課長

（オブザーバー）国土交通省中部運輸局 鉄道部監理課 小中課長

名古屋鉄道株式会社鉄道事業本部 太田計画部長

〔発言要旨〕

1 開会（会長：西尾市）

令和8年度以降の名鉄西尾・蒲郡線の鉄道運行については、本協議会において「今年度中に一定の方向性を示す」として、1年間をかけて、協議を重ね、議論を深めてきたところである。名鉄西尾・蒲郡線のあり方は、大きな転機を迎えようとしている。皆様の慎重なご協議をお願いしたい。

2 協議事項

令和8年度以降の名鉄西尾・蒲郡線（西尾駅～蒲郡駅）の鉄道運行・支援について（事務局：西尾市地域つながり課）

議案第1号の内容を説明。議案の内容を当協議会の方針とすることで承認された。また、項目2に関連して、鉄道事業者と自治体が一体となり鉄道事業再構築実施計画を策定し、地域公共交通計画に鉄道事業再構築事業を位置付けすることで国土交通大臣の認定を受けることができる。現在、本協議会においては名古屋鉄道はオブザーバーという位置付けであるが、鉄道再構築事業実施計画の策定にあたっては名古屋鉄道が構成員となる必要があるため、今後その位置付けの変更について検討することを確認した。

4 意見交換

(蒲郡市)

- ・名鉄西尾・蒲郡線の運行について、本日、今後の方針を決定することができた。存続の決定という未来に向けた明るいニュースを学生の皆様、市民の皆様にお届けできることを、大変嬉しく思う。
- ・これは、名古屋鉄道に西尾市及び蒲郡市の公共交通について共にお考えいただけたからこそ実現したものであり、心から感謝申し上げます。また、愛知県、中部運輸局には、終始建設的なご助言をいただいた。改めて深く御礼を申し上げます。
- ・鉄道は単なる移動手段にとどまらず、地域経済の発展や観光振興にも寄与する、かけがえない社会資本である。今回、「みなし上下分離方式」という形で事業構造を変更し、今後15年間の長期的な視点を持ち、社会インフラとして、明確に位置づける新たな転換点となる。
- ・実現に向けてより具体的な協議を進め、鉄道事業再構築実施計画の策定に取り組んでいく。
- ・しっかりとした土台を築き、将来にわたって持続可能な安定した運行が維持できる仕組みを構築していくことが重要だと考えている。
- ・持続可能な運行には一定の財政支援が必要となるが、単なる鉄道運行の負担ではなく、安心して暮らせるまちづくりの整備費用であると考え。国の交付金を積極的に活用し、名古屋鉄道、中部運輸局、愛知県、西尾市とともに、引き続き、一つとなってこの地域の交通ネットワークを守り、その存在価値を最大限に活かせるよう取り組んでいく所存である。
- ・安心して暮らせる環境を整えながら、風光明媚な、この地域ならではの魅力を生かし、鉄道を軸とし、市外、県外の皆様にもこれまで以上に訪れていただけるよう、地域の魅力を高めるまちづくりを推進していく。
- ・今後も、引き続き、皆様とともに進めていくので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(愛知県)

- ・日頃は愛知県の交通行政にご理解とご協力をいただき、この場をお借りしてお礼申し上げます。
- ・はじめに、公共交通の担い手として、西尾・蒲郡線の運行を継続していただいている名古屋鉄道と、運行支援を続けられている西尾市と蒲郡市に敬意を表する。
- ・2026年度以降のあり方については、この一年間、調査事業を通し市民や利用者の声を丁寧聞きつつ、西尾市、蒲郡市、中部運輸局、名古屋鉄道、愛知県の5者において、持続可能性・利便性の高い公共交通へ再構築してくため、議論を重ねてきた。
- ・その結果、蒲郡線については、みなし上下分離方式へ事業構造を変更、西尾線については、名古屋鉄道による自主運行により、鉄道として存続する方針が決まった。このことは、中学生や高校生たちの進路選択をはじめ、地域住民の生活や、観光をはじめとする地域振興にとって、大きな意味を持つことだと思う。
- ・今後は、2027年度からのみなし上下分離方式への移行のため、具体的な事項の協議・調整の段階に入っていく。県としても、引き続き、県民の足がしっかり確保できるよう、関係者の協議が円滑に進むように、役割を果たしていく。

(中部運輸局)

- ・日頃は国土交通行政にご理解とご協力をいただき、この場をお借りしてお礼申し上げます。
- ・本日の協議により、令和8年度以降の名鉄西尾・蒲郡線の鉄道運行・支援について当協議会の方針が決定されたことについて、関係者皆様の御尽力に敬意を表する。
- ・昨今では全国の多くのローカル鉄道沿線において、利用者の減少による路線の存続に関する議論が行われるようになってきている。こうした中で西尾市、蒲郡市の両市においては、当協議会の方針の決定に至るまでに、西尾・蒲郡線の今後のあり方について真剣に向き合われ、住民の声を集めながら、地域の足となる鉄道の存続に向けて相当の覚悟と熱意をもって取り組み、将来を見据えて重大な決断をされたものと認識している。
- ・西尾・蒲郡線が存続するにあたり、蒲郡線を対象とした自治体が整備費などの費用負担をする「みなし上下分離方式」による鉄道事業再構築事業を行うことになる。これにより社会資本整備総合交付金を活用した利便向上を目指すとされており、中部運輸局としても、こうした取り組みに関して、今後も必要な支援を行なっていく。
- ・今回の方針決定によって、西尾・蒲郡線がそのまま存続するだけでなく、さらに持続可能な利便性の高い公共交通となるように、今後も関係者が一丸となった取り組みをしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。

(名古屋鉄道株式会社)

- ・皆様には、日頃から当社及び名鉄グループの各事業にご理解・ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。
- ・先ほど、西尾・蒲郡線（西尾駅～蒲郡駅間）の、令和8年度以降の運行・支援に関する基本方針が決定した。
- ・当該線区については、これまで沿線の皆様から多大なるご支援を頂戴してきた。しかしながら、今後、「利用者がコロナ禍前には戻らない見込みであること」、「物価上昇による経費増加が今後も続く見込みであること」、「中長期的な視点で計画的な更新投資が必要であること」といった、大変厳しい環境が取り巻く中で、西尾市、蒲郡市をはじめ、愛知県、中部運輸局、関係者の皆様方に、こうした状況を十分にご理解いただき、線区の将来像について真摯にご検討、ご議論をいただいた結果、本日を迎えることができたと考えている。重ねて御礼申し上げます。
- ・当地域において、鉄道を中心とした持続可能な公共交通ネットワークが形成され、公共交通分担率の向上につながるよう、当社といたしても、新たなスキームへの移行目標である令和9年4月に向け、鉄道事業者としての役割を着実に果たしていく所存であるので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

(西尾市)

- ・本日の協議により、名鉄西尾・蒲郡線は蒲郡線を対象とした「みなし上下分離方式」を採用することで、15年という長期にわたる存続の方針が決定した。未来へとレールがつながれたことは、経済の振興や、観光産業の発展に資する一方で、本市の持続可能な成長にも寄与することが期待されるものである。また、将来ある子どもたちの進路選択における不安の解消にもつながることは、非常に有益なものである。

- ・名古屋鉄道をはじめ、愛知県、中部運輸局、関係者の皆様のご尽力に、心から敬意を表する。
- ・特に名古屋鉄道におかれては、「地域を創り、社会を支え、まちを彩る」というビジョンに沿い、当地域の未来を見据えていただき、加えて、最大限に両市の意を汲んでいただいたことに、重ねてお礼を申し上げます。
- ・名鉄西尾・蒲郡線は、長きにわたり、地域の暮らしを支え、人々をつないできた、かけがえのない路線である。今後も、この路線を地域の重要なインフラとして維持・発展させるために、市としても引き続き支援を行い、関係機関の皆様とともに、将来に向けて誇れる交通ネットワークを築いていけるよう努めていく。
- ・今後とも引き続き、ご出席の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。